

日本女子ソフトボールリーグ大会運営マニュアル

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対応版

日本女子ソフトボールリーグ機構

1. 大会開催準備

【準備品について】 ※通常のリーグ運営に必要なものは除く

- ① サーモメーター（非接触型体温計）：**大会関係者用として**各会場 2 台をリーグ機構より持ち込み
※それ以上必要な場合は、各会場で準備ください。
- ② 消毒液：必要数量をリーグ機構で算出し、各会場に事前送付
※チームの受付で使用する分は、各チームで準備する。
- ③ 感染予防対策備品（マスク、手袋、遮蔽板、フェイスシールドなど）
：必要数を事前に算出し各会場で準備すること
- ④ 感染予防対策啓発物（注意喚起パンフレット・ビラ・掲示物など）
：必要数を事前に算出し各会場で準備すること

【設営・撤去について】

- ① 健康状態に不安のある方は参加を自粛してもらう。
※参加者は健康状態申告書を提出のこと
- ② 設営・撤去時の人員はなるべく最小限で作業を行えるように工程を組むこと。
- ③ 設営・撤去において、十分な時間を設定し密な空間の発生防止を行う。
- ④ 運営スタッフに、十分な栄養摂取と睡眠確保を心がける等の健康管理を促す。
- ⑤ 屋内で作業をする場合は、十分な換気を行う。
- ⑥ 作業上困難な場合以外の社会的距離（最低 1 メートル）の確保に努める。
- ⑦ 原則としてマスクの着用、咳エチケット、手洗い消毒の徹底。
- ⑧ 運営スタッフは、用具の使用を専有し共有をしない。
※止むを得ず共有しなければならない場合は、消毒を徹底する
- ⑨ 熱中症の予防に十分配慮し、作業を行う。（水分補給、小まめな休憩等）

【運営スタッフ名簿について】

- ① 大会運営に関わるスタッフの氏名及び緊急連絡先を把握し、名簿を作成・保管する。
※個人情報保護の観点から、名簿等の保管は管理者を定め厳重に行う。
（保管期間：一ヶ月以上）

2. 観客管理 ※有観客大会のみ適用

【入退場口管理】

- ① 観客入場口を必要最小限に絞って、サーモメーター（非接触型体温計）を配備し、体温計測を行う。
※観客への検温対応は、日本ソフトボール協会（委託業者）が行うが、開催支部協会にも協力を仰ぐ場合あり
※発熱（37.5 度以上）が検知された場合は、時間をおいてサーモメーターによる再計測（2 回）を行い、それでも 37.5 度以上の場合はお引き取り頂く
※観客用サーモメーターの手配は、日本ソフトボール協会（委託業者）が行う
- ② 発熱等、健康状態に問題のあった場合には、入場をお断りする。
※入場券の払い戻しは、原則行わない
- ③ 入場時にマスク着用を呼びかけ、着用していない方へマスクの配布（販売）を行う。
- ④ 各入口への消毒液の設置。 ※残量管理と補充も行う。
- ⑤ 入場に際して行列ができる場合を想定して、並ぶ間隔のマーキングを施す。
- ⑥ パンフレット等の配布物がある場合、手渡しは行わない。
- ⑦ 入場口付近の目立つ場所に、感染予防を促す（マスクの着用、手指消毒の励行、社会的距離（最低 1 メートル）確保、大声での発声および声援の禁止）掲示を行う。
- ⑧ 接触確認アプリ（COCOA）のインストールを推奨する掲示を行う。
- ⑨ 観戦後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症に罹患した場合は、主催者（日本ソフトボール協会または開催支部協会）へ連絡して頂く旨の放送・掲示を行う。
- ⑩ 試合終了後には、退場専用口を開放するなど、密を起こさない工夫をする。
- ⑪ 入場する際、氏名・連絡先・座席番号等を記入する用紙およびペンを渡し、退場の際に BOX 回収を行う。
※配布・回収作業は日本ソフトボール協会（委託業者）が行うが、開催支部協会にも協力を仰ぐ場合あり
※上記にて取得した個人情報、管理者を定め厳重に保管・廃棄を行うこと
（保管期間：一ヶ月以上）

【当日券販売】

- ① 現金の授受はトレーを介して行う。
- ② 窓口に消毒液を設置し、小まめな手指消毒を促す。
- ③ 販売員は、マスク・手袋を着用する。
※対面する場合は、遮蔽板やフェイスシールドを使用
※手袋を着用しない場合は、手指消毒を小まめに行う
- ④ 観客入場者数が入場制限数（50%集客）を超えそうな場合は、販売を中止する。
- ⑤ プログラム販売についても、当日券と同様な手順にて販売を行う。

【もぎり対応】

- ① 原則、入場券のもぎりは、その場で入場者本人に行ってもらい、半券は回収BOX等に直接投入してもらおう。

- ② 再入場希望者については、一時退場時に本券に目印を入れるが、その際に接触感染を起ささないような作業工程とする。
- ③ 対応スタッフは、本券の確認（目視）作業のみとする。
- ④ 対応スタッフは、マスク・手袋を着用する。
※対面する場合は、遮蔽板やフェイスシールドを使用
※手袋を着用しない場合は、手指消毒を小まめに行う

【観客席管理】

- ① 観客席での試合観戦の妨げにならない各所にマスクの着用、手指消毒の励行、社会的距離（最低1メートル）確保など感染予防を促す掲示を行う。
- ② 観客席では、一席空けての観戦をお願いするが、同一の観客グループ（5名以内に限る）については、席を空けずの観戦を可とする。
- ③ 試合前後・イニング間に於いて、放送やスコアボードを使用して、マスクの着用、手指消毒の励行、社会的距離確保の呼びかけを行う。
- ④ 観客席に整備員を配置し、社会的距離（最低1メートル）確保や応援マナー等に関する声掛けを行う。
※チーム応援団席はチームに遵守してもらえるように事前に依頼する
- ⑤ 来場者より感染が出た場合のリスク軽減のため、一般観戦者、チーム応援団、大会関係者、報道関係者等のエリア分け（ゾーニング）を行う。
※バックネット裏のアナリスト席もゾーニングし、密にならない工夫を施す
- ⑥ 観客席数の50%を入場制限数とし、チーム来場者数と一般来場者数のMax人数を決め、主催者（日本ソフトボール協会または開催支部協会）はチーム事務局へ事前に連絡する。
※チームは、決められた入場者数を超えないよう管理すること
- ⑦ 日ごとの興行終了時には、使用した観客席の消毒を行うこと。
※消毒作業は、日本ソフトボール協会（委託業者）にて行うが、開催支部協会にも協力を仰ぐ場合あり

3. 会場管理

【諸室】

- ① 諸室内は、十分な換気を行う。 ※出入口の扉は、原則、常時全開
- ② テーブルや椅子の配置を工夫して、社会的距離（最低1メートル）を保つ。
- ③ 事業用品や事務用品は共有しない。
※止むを得ず共有しなければならない場合は消毒を徹底する
- ④ 常時マスクを着用し、大声をあげない。
- ⑤ 不特定多数が触るドアノブ、テーブル等は、小まめに消毒を行う。

【大会関係者・報道関係者受付】

- ① 対応スタッフは、マスク・手袋を着用する。
※対面する場合は、遮蔽板やフェイスシールドを使用

※手袋を着用しない場合は、手指消毒を小まめに行う

- ② 受付には、サーモメーター（非接触型体温計）を設置し、体温計測を行う。
- ③ 来場者には、健康状態申告書を記入・提出してもらう。
※健康状態申告書を提出して頂いた当日は、その後の検温は不要とする
- ④ 受付に消毒液を設置し、小まめな手指消毒を促す。
- ⑤ 報道関係者には、取材ルール遵守と共に健康状態申告書を記入・提出を義務付け、球場内でのマスク装着を義務づけ、非装着時入場不可の徹底をする。
- ⑥ 健康状態申告書は、個人情報保護の観点から、管理者を定め厳重に保管する。
(保管期間：一ヶ月以上)

【チーム応援者受付】

- ① チーム受付担当者には、以下ことを実施して頂く。
 - ・対応スタッフは、マスク・手袋を着用する。
※対面する場合は、遮蔽板やフェイスシールドを使用
 - ※手袋を着用しない場合は、手指消毒を小まめに行う
 - ・消毒液を設置し、小まめな手指消毒を促す。(消毒液はチームで手配)
 - ・受付終了後、借用した備品等の消毒（毎日）

【トイレ】

- ① 観客、選手、運営スタッフのトイレは、極力分ける。
- ② トイレには、石鹸（ポンプ型が望ましい）を常設する。
- ③ ロールタオル、ハンドドライヤーは使用禁止。
- ④ 不特定多数が触るドアノブ等は、小まめに消毒を行う

【喫煙所】

- ① 十分な対人間隔が確保できる屋外スペースで、利用人数を制限した運用を行うこと。
- ② 屋内の喫煙所は使用禁止とする。

【ベンチ】

- ① 野球場のダグアウトもベンチとして併用し、社会的距離（最低1メートル）を確保できるよう椅子を配置する。
※ソフトボール専用球場使用の場合は、別途協議
- ② ベンチ内に消毒液を常設し、小まめに手指消毒を行う。
- ③ チーム入替時のベンチ内の消毒は、後から入るチームが行う。
※噴霧器（スプレーでも可）で消毒液を散布して、雑巾で拭き上げる

【更衣室】

- ① 室内の十分な換気を行う。 ※必要に応じて扇風機・サーキュレーターを使用
- ② 室内が密とならないよう、使用者またはチームへ伝える。
- ③ チームミーティングは更衣室内では行わない。

【選手動線】

- ① 選手の会場入りに際しては、一般観客と交わらない動線を確保する。
※会場毎に事前シミュレーションを行うこと

- ② 選手エリア（選手通用口、ベンチ、ダグアウト、更衣室、外野練習場など）には、チーム関係者以外はむやみに立ち入らない。
- ③ 選手用トイレは、出来る限り専用化する。（仮設トイレでも可）

【物販・飲食関係】

- ① 出店業者には、各業界のガイドラインに沿った形での運用を依頼する。

4. イベント管理

【ファンサービス】

- ① 選手とファンが直接触れ合うイベントや密を発生させる恐れのあるイベントについては中止とする。
- ② 実施不可のファンサービス：サインボール投げ入れ、エスコートキッズ、選手とのふれあい会、サイン会、写真撮影会、握手会
- ③ 実施可能なファンサービス：各種抽選会
- ④ 選手のチームバスへの移動時のファン対応は、主催協会が責任を持って動線を確認し、選手とファンが直接触れ合う事が無いようにする。
※事前にチームマネージャー等に相談し、対策を講じる

【始球式（ソーシャルディスタンス版）】

- ① 社会的距離（最低1メートル）を意識したものであれば実施可。
※始球式後に記念撮影を行う場合は、密に注意し実施すること
- ② イベント前後の手指消毒を確実に行う。
- ③ 実施タイミングは、原則、選手との接触を避けるためグラウンド整備の直後とする。
- ④ 始球式については、基本的にはチーム（選手）対応不要とするが、主催者より要望のある場合は、別途協議。

【監督・選手インタビュー】 ※試合後のみの対応とする。

- ① 試合後にインタビューを行う場合は、話し手・受け手とも専用マイクを準備する。

【メディア対応】

- ① メディアに対しては、報道受付にて取材マニュアルを配布し遵守させる。
(取材パスの発行、取材者名の記録、健康状態申告書の提出、エリア制限など)
- ② 原則、オンライン取材とするが、**感染対策が十分行える場合はその限りでない。**
- ③ 注目が集まる大会に関しては、テレビ局1社に限り対面取材を行う可能性あり。
その場合、幹事社と事前調整のうえ、社会的距離の確保（最低2メートル以上）、遮蔽板の使用等、選手の安全を最優先して行う。
- ④ 原則、リーグ機構事務局側でコントロールするが、チームにも協力を頂く場合あり
※メディア対応者を現地派遣

5. その他

【試合関係】

- ① 選手交代時、球審への選手交代ボードの受け渡しは行わず、スコアラー等が放送室・記録員室前まで運び提示する。
- ② 試合前の打順表提出・コイントスについては、極力屋外にて行う。
- ③ 試合前の用具検査を行う際、審判員は手袋を着用して行う。

【大会出場辞退について】

- ① 新型コロナウイルス感染症の影響により出場辞退となったチームには、原則ペナルティーを課さない。
※但し、出場辞退したチームは、日本ソフトボール協会が指定した理由書を提出し承認を得ること

(以上)

令和2年7月29日作成

令和2年8月31日改定

令和3年2月28日改定